

事務事業名	健康診査事業		担当	健康福祉部 健康増進課 健康づくり係	
政策名	2	「笑顔づくり」～安心と元気アップ！～	施策名	6	健康づくりの推進
成果指標	名称		単位	5 年度実績	
	がん検診受診率（全がん平均）		%	25.7	
	特定健診受診率		%	44.8	
	後期高齢者健診受診率		%	33.3	
事業概要	健康寿命の延伸・生活の質の向上を図るため、感染症法、健康増進法、高齢者医療確保法に則り、結核検診、肝炎ウイルス検査、基本健診（要保護者）、がん検診（胃・肺・大腸・前立腺・子宮・乳）、特定健診、後期高齢者健診を実施する。 また、本市独自の事業として、30歳代向けの特定健診であるヤング健診を実施する。				
5 年度 実績・成果・課題	感染症対策を講じすべての検診を実施した。生活習慣病の重症化やがんの早期発見のために未受診者対策が重要であるため、情報の発信方法を検討する必要がある。コロナ禍以前の状況に戻りつつあり特定健診受診率は増加しているが、がん検診受診率と後期高齢者健診受診率は低いため、未受診者への受診勧奨の周知や受けやすい体制づくりが課題である。 ・がん検診受診率 R3:27.8% R4:26.6% R5:25.7% （全がん検診平均） ・特定健診受診率 R3:44.1% R4:44.2% R5:44.8% ・後期高齢者健診受診率 R3:36.7% R4:34.5% R5:33.3%				
今後の方向性と 具体策	☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的絞込み ☐ 目的拡充 ☐ 事業統合 ☒ 事業のやり方改善 ☐ 予算削減 ☐ 予算増大 ☐ 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） 【具体的な改善案】 ・特定健診と女性がん検診を同時に受診できるようにし、市民がより受けやすい体制づくりを検討する。 ・若い方からの健診受診や健康づくりへの意識を高めるため、ヤング健診の受診年齢を検討する。 ・健診の情報や重要性を伝えるため、年代に応じた方法で周知をする。 ・健診や健康づくり事業を掲載した「健康ガイドブック」の内容の充実を図り、情報発信をする。 ・受診しやすい健診体制の整備の一つとして、医療機関（かかりつけ医）での個別健診を実施し、健診内容等について健康ガイドブックの中でわかりやすく周知していく。				